



小林会長 ご勇退

12月7日に開かれた総会において、創立からこの会の会長を務めていただいた小林先生のご勇退が決まりました。いわて思春期研究会の顔として私たち会員を支え続けてくださった小林先生、本当にありがとうございました。小林先生から辞任のご挨拶をいただいておりますのでご紹介いたします。

いわて思春期研究会 会長辞任のご挨拶

いわて思春期研究会会長を辞任いたしました。後任は吉田耕太郎先生に決定しております。副会長以下の人事は未定ですが次回の総会で決まることとなります。また事務局は令和7年度まで県立大学の福島裕子教授の教室にお願い出来ることになっております。

平成21年の創立から16年もの長い間会長を務め、会員の皆様にご迷惑をかけてしまいました。お詫びと御礼を申し上げます。特に事務局を引き受けていただいた福島裕子先生、一時個人として事務局を務めていただいた臼井由紀子先生には心から御礼いたします。

今から33年前、盛岡保健所を事務局として思春期談話会を開始しました。隔月で開かれ、県内各地から毎回30人程度集まり、熱く議論していたことが懐かしく思い出されます。その後保健所再編により、談話会が消滅。当時私は年間50回ぐらい出前講演を県内各地の中学・高校・PTAで行っていました。一人開業医で分娩を扱い、午後の診療を休んで県内各地を回ることに限界を感じていました。疲れ切っていました。

そんなある日、奥寺三枝子先生、福島裕子先生、秋元義弘先生と相談し、自分たちで思春期研究会を作ることになりました。望まない妊娠の増加、性被害の増加、性感染症の増加に対して多職種の大人数が集い、情報交換して何とか対応しようとして「いわて思春期研究会」が発足しました。

一年ほど前、カワトクに老人用のポロシャツを買いに行きました。いつもの店に行くと、「先生ちょっと待って下さい」と販売員が言い、別の売り場にいた中年の販売員を連れてきました。その中年女性は私の顔を見たらすぐ涙ぐみ、話し始めました。20年位前に岩手山の麓の柳沢中学という小規模校に娘さんが通っており、たまたま私が出前講演で話したことに影響を受けて、助産師を目指し無事助産師になって関東で仕事をしているとのことでした。涙ぐむ彼女の話でつい私も熱くなりました。

今子どもたちを取り巻く環境は益々複雑化し、国もブレコンセプションケアを本気で取り組む覚悟になっているようです。市町村レベルではどこまで対策可能か不明ですが、いわて思春期研究会の果たすべき役割は一層大きくなっていると思われれます。

私も一会員として協力するつもりであります。

感謝と御礼を申し上げて辞任の挨拶といたします。

令和7年2月2日 小林 高

いわて思春期研究会ニュースレター

第13号 2025年2月発行

発行元：〒020-0693 岩手県滝沢市菓子 152-52 岩手県立大学看護学部 母子看護学講座内「いわて思春期研究会」事務局 FAX：019-694-3232 メール：y9h984@bma.biglobe.ne.jp (吉田)
作成者：岩手思春期研究会広報担当理事 米澤慎悦 黒田大介 住吉美保 佐賀唯衣

2024年度いわて思春期研究会第2回研修会が開かれます

テーマ：「岩手県の思春期保健における課題あれこれ」

講師：岩手県保健福祉部子ども子育て支援室室長 前川貴美子さん

日時：2025年3月22日(土) 13時30分～15時30分

場所：アイーナキャンパス学習室4

参加費：会員無料、非会員500円

<プログラム>

- 13:30-13:35 開会 挨拶 (小林高会長)
- 13:35-14:55 基調講演「岩手県の思春期保健における課題あれこれ」
講師：岩手県保健福祉部子ども子育て支援室室長 前川貴美子さん
- 15:00-15:30 フリートーク
「学校・地域・家庭における思春期保健の課題」
～あんなこと！こんなこと！
日頃の感じていることなんでも語ってみよう！～
助言者：岩手県保健福祉部子ども子育て支援室室長 前川貴美子さん
- 15:30 閉会

参加申し込み
フォーム

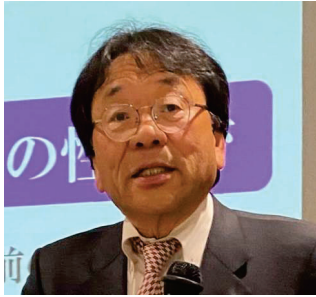


2024年度いわて思春期研究会第1回研修会が開かれました

2024年12月7日(土)

テーマ 「明日から役立つ Dr.北村の実践的性教育講座」

講師 一般社団法人日本家族計画協会 会長 北村 邦夫 先生



【北村邦夫先生御略歴】

群馬県出身

1977年自治医科大学医学部卒業後、群馬県職員として群馬大学医学部産婦人科学教室で臨床を学ぶ。

保健所や群馬県庁で勤務

2014年から日本家族計画協会理事

2018年から日本家族計画協会会長

「あの！北村先生」が岩手思春期研究会に来て下さる！

ということで、ひそかな大興奮の中、盛岡アートホテル鳳凰の間に54名もの参加者を得て、北村先生をお迎えすることができました。

北村先生の性教育指導の原点は、初めての講演会の失敗にあり、そこから、発声方法や表情の作り方、声のかけ方等を研究に研究を重ね、「あの！北村先生」となられたのだという事がわかりました。対象者の興味を引き、伝えたいことを伝えるためにはどうしたらいいかという事をストイックに突き詰めていらっしゃるプロフェッショナルなお仕事を垣間見ることができ、とても素敵な時間を過ごすことができました。

【現在注目されている包括的性教育とは】

人権を基盤とした性の教育のこと。

体の発達や生殖などの生物学的な面に加え、ジェンダー平等や性の多様性といった社会・文化的側面も含めて、幅広く性を学ぶこと。自らの健康や安全について考え、より良い人間関係を築き、幸せに生きるための選択ができる力を育むことを目指している。「包括的」というと身構えるところもあるが、北村先生は、自分たちは今までも「包括的」と呼べるくらいの情報提供をしてきているのだ、と語られていました。

【選択と先を読む力】

人生は選択の連続で、どんな選択と自己決定ができるかが重要である。犯罪、妊娠、避妊、中絶、性感染症等、先を読むことで、体験しなくてもいいことがたくさん出てくる。「経験にマイナスなし」だが、時間のロスになりかねず、知識を持つことで、行動が慎重になる。「寝た子を起こすな」ではなく、現在は、インターネットをはじめ知識を得る手段がたくさんあり、目が覚めている子ども達の目を更に広げるための教育が必要となっている。

【子宮頸がん予防について】

- ・1日に約10人が子宮頸がん で亡くなっている。
- ・日本女性の約83人に1人が子宮頸がんを発症している。
- ・2000年以降、増加し続けている。
(HPVワクチンの推奨)
- ・優先接種対象：小学6年生から高校1年生相当 初交前が理想的
- ・キャッチアップ対象：15～45歳
- ・ワクチン接種後も定期的な検診を継続



歯止め規定が
なんぼのもんじゃ！

性教育を行う上で足かせとなっている、いわゆる「歯止め規定」ですが、北村先生にこのように言っていたら、恐れるに足らずと思えてきます。必要以上に恐れずに、目の前の子ども達の実態にあった指導をしていきたいと思いました。北村先生は、AIが台頭してくる現代において生身の人間として何が伝えられるかが問われてくる、とお話していましたが、私たちは、講演の中で先生の生き様がにじみ出るメッセージをたくさん受け取ることができました。素晴らしい講演をありがとうございました。

意見交換 ～北村先生と語ろう！みんなで語ろう！～

助言者 一般社団法人日本家族計画協会 会長 北村 邦夫先生

座長 いわて思春期研究会 会長 小林 高先生

(会場からの意見)

○講師側が伝えたいことと子どもたちが聞きたいことは異なるという印象は、日頃から感じており、実際にインタビューを行った際にも、保護者と子どもからも異なるニーズが聞かれた。

○教育現場での性教育で、男性のデリケートな部分の話を女性から聞きたくなかった等の感想をもらったこともあり、学校と綿密な打ち合わせをしてから、講話に入るようにしている。

○性風俗に勤務する女性から緊急避妊薬の処方等の相談を受けることもあり、医療現場においては、相談を受け、処方を繰り返すことが、できる支援と考えている。

(北村先生からの助言)

○性風俗の仕事だからといって、一方的に辞めなさいということとはできない。私たちは相談者の生活を保障できるわけではない。中にはプライドを持って働いている方もいるため、職業の否定につながる話はしないようにしている。

○本来であれば、子どもたちが自分を守るために必要な情報であるが、伝える方法について限界があると思われる。特に、マスターベーションのやり方といった男性から伝えたほうが良いような内容であれば、信頼のおけるYouTubeを活用してみたいかがか。